

## 会議録

会議の名称	令和5年度第2回 所沢市地域公共交通協議会
開催日時	令和5年11月24日(金) 午後2時から4時まで
開催場所	所沢市役所8階 大会議室
出席者の氏名	渡邊 康博、保科 美佐子、東 静子、小澤 来菜、横溝 哲夫、 玉津島 一誠、岩澤 貴顕、秦野 凌、霜村 益久、関根 肇、 尾崎 晴男、飯島 勲、小出 裕堂、古川 雄哉、永井 英喜、 肥沼 宏至、鈴木 哲也、鈴木 明彦(代理：畑中 武)、埜澤 好美、 小河 憲司、黛 浩一郎
欠席者の氏名	倉科 大地、加藤 和伸、藤田 貢、坂井 貴夫
議 題	(1)運賃協議に関する部会の設置について (2)ところバスの路線等の見直しについて (3)三ヶ島地区におけるところワゴンの本格導入について (4)所沢市地域公共交通計画の達成状況評価について (5)その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・諮問書の写し</li> <li>・資料1 運賃協議部会の設置について</li> <li>・資料2-1 令和6年度所沢市内循環バス「ところバス」路線等の見直し(検討案)について</li> <li>・資料2-2 所沢市内循環バス「ところバス」路線図(令和5年4月1日現在)</li> <li>・資料2-3 所沢市内循環バス「ところバス」新コース(案)(令和6年度見直し分)</li> <li>・資料2-4 ところバス西路線新旧ルート図</li> <li>・資料3 三ヶ島地区ところワゴンルート路線図</li> <li>・資料4 所沢市地域公共交通計画の達成状況評価(プレ評価)</li> <li>・参考資料1 ところバス・ところワゴン等の路線を見直す際の流れ</li> <li>・参考資料2 ところワゴン3地区年間実績</li> <li>・道路運送法施行規則第4条第2項に基づく地域公共交通協議会において協議が調っていることの証明書(案)</li> </ul>

担 当 部 課 名	街づくり計画部：高野次長、塩崎参事 都市計画課：増子課長、会沢主幹、板垣室長、盛清主査、 葛貫主査、松田主任、江見主事 【事務局】：街づくり計画部 都市計画課 電話 04-2998-9192
-----------	---

様式第 2 号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
	<p><b>1 開会</b> 会議成立の報告(出席者 21 名)</p> <p><b>2 新任委員紹介</b></p> <p>(以下、尾崎会長が議長となり進行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は公開</li> <li>・傍聴者：2 人</li> </ul> <p><b>3 議事</b> <b>(1)運賃協議に関する部会の設置について</b> 資料 1 をもとに説明。</p>
事務局	本協議会にて、所沢市地域公共交通協議会条例の第 9 条第 1 項に基づき、運賃について協議する部会を設置していただきたい。
会長	部会の設置について何か意見・質問はあるか。
各委員	(異議なし)
会長	では、部会の設置を承認するものとする。
事務局	部会を構成する委員については、同条例の第 9 条第 2 項により、会長に委員の指名をお願いしたい。
会長	市の立場として、所沢市街づくり計画部長の埜澤委員、 運行事業者として、西武ハイヤー株式会社の霜村委員、 地方運輸局の立場として、埼玉運輸支局の坂井委員、 住民代表として、自治連合会の横溝委員を指名する。
事務局	部会の構成員となった委員に対しては、三ヶ島地区ところワゴンの運賃協議について、別途資料を送付する。 また、今後ところバスの運賃について協議が必要となった場合、一部構成員を変更して実施する必要がある。

	<p>加えて、道路運送法の改正により、第9条第5項で、運賃協議の前にあらかじめ、市民や利害関係者から運賃に関する意見を徴取することも義務化されており、今後、広報ところざわ、市ホームページにて意見募集を行う予定である。</p> <p><b>(2)ところバスの路線等見直しについて</b> 資料2-1から2-4をもとに説明。</p>
事務局	本日提出した諮問に対する協議をしていただきたい。
会長	ところバスの路線等見直しについて、質問や意見はあるか。
委員	ところバス富岡循環コースの廃止について、一部交通空白地区ができる所を、ところワゴンで補っていくという話があったが、バス廃止と同時期にワゴンで補うのか、バス廃止後からワゴンの運行開始まで期間が空くのか、その時期について回答いただきたい。
事務局	交通空白地域となる期間がないように進めたいと考えている。
会長	他に質問・意見はあるか。
各委員	(異議なし)
会長	ところバスの路線等見直しについて、協議会として了承ということによろしいか。
各委員	(全員了承)
会長	それでは協議会として、「ところバスの路線等見直し」への答申を出したいと思うが、手続きについて事務局より説明をお願いしたい。
委員	答申については、文面を会長と調整させて頂きたいと考えている。
会長	承知した。ところバスの路線等見直しについては、実施に向けて詳細を詰めていく際、本日委員の皆様より出された意見等を踏まえて進めていただきたい。

	<p><b>(3)三ヶ島地区におけるところワゴンの本格導入について</b> 資料 3 をもとに説明。</p>
会長	三ヶ島地区ところワゴンの本格運行への移行について、質問や意見はあるか。
各委員	(異議なし)
会長	三ヶ島地区ところワゴンの本格導入について、協議会として了承し、「協議が調っていることの証明書」は本日付で発行ということによろしいか。
各委員	(全員了承)
会長	4 月の本格運行に向けて、事務局・運行事業者等で準備を進めていただきたい。
	<p><b>(4)所沢市地域公共交通計画の達成状況評価について</b> 資料 4 をもとに説明。</p>
事務局	今回の評価は計画期間より前の事業についてのプレ評価となる。指標については参考となるが、各指標の評価の適切さ、評価コメント案、今後の評価の仕方について意見をいただきたい。
会長	所沢市地域公共交通計画については、毎年モニタリング指標のデータを観察しながら、状況を確認・評価していくこととなるが、その前段として、昨年度事業をプレ評価という形で評価している。今回の達成状況評価について、質問や意見はあるか。
委員	<p>一点目は、指標 1「公共交通利用者数の増加」の評価結果で、「コロナ禍前の人数には戻り切っていない。」とあるが、コロナ禍前の利用者数を教えていただきたい。</p> <p>二点目は、指標 4 の「交通政策に対する満足度の向上」で、交通政策の満足度が 38.3%というのは、低いように感じる。ところワゴンを利用した際に、運転手のサービス、運転状況は非常に質が高いと感じたが、なぜこのような数値になったのか。</p>

事務局	<p>一点目については、令和4年度時点で、コロナ禍前と比較し、鉄道・バスともに、おおむね9割程度まで回復している。</p> <p>これを基にコロナ禍前の概数を示すと、鉄道は1日当たり40万人程度、バスは1年当たり1000万人程度となる。</p> <p>二点目の市民意識調査については、毎年無作為抽出をした市民に回答いただいているものである。</p> <p>質問内容は、所沢市の交通政策について満足しているか、という抽象的な問いかけである。</p> <p>38.3%という数字自体は低いが、各分野の施策に対する満足度のうち、上位10項目に入っている。</p> <p>公共交通の継続のためにも、市民が生活の質の向上を実感できるような施策を今後も検討していきたい。</p>
委員	<p>ところバスについて利用者の意識調査はあるのか。</p>
事務局	<p>ところバスについては、所沢市地域公共交通計画の策定にあたって、利用者にアンケートを実施している。</p> <p>不満を感じる点を問う項目については、「便数が少ない」という意見が最も多く、「遅延が多い」という意見が続いている。</p>
会長	<p>それらのデータは市のホームページから閲覧可能か。</p>
事務局	<p>市のホームページで「所沢市統計書」という形で、利用者数等を公表している。市民意識調査の結果についてもホームページに掲載している。</p>
委員	<p>統計の見せ方の点で、指標4を他の指標と比較すると、0%~100%で表示されており、目標値との乖離がわかりづらいため、他の指標と同様に分かりやすく表現して欲しい。併せて、指標1も上に余白部分があるため、次回以降、表示方法の改善をお願いしたい。</p>
事務局	<p>指標1について、今後伸びていく想定のため、このような表示をしている。指標4については、他の指標に比べて、変動が大きいという想定のもと、広く幅を取っている。今後、値の動きを見つつ、わかりやすい資料作りに努める。</p>
委員	<p>指標2の「収支率の改善」について、評価結果に「人件費や燃料費</p>

	<p>の高騰の影響を受ける可能性もある」と記載があるが、燃料費だけでなく、物価の高騰等、様々な事情があると考えます。車両の修繕をする際の部品の価格の上昇といったものは、あまり収支率には関係してこないのか。</p> <p>また、収支率改善にあたって、運賃を改定するということはこれまで検討されていたのか。</p>
事務局	<p>部品の価格上昇等もバスの運行経費に含まれるため、収支率に対する影響として出てくるものと考えます。</p> <p>運賃の見直しについては、まずは公共交通を利用していただくため、路線の見直しを図ることが必要と考えます。その上で、必要に応じて、今後収支率の改善に向けて運賃等を見直す可能性も考えられる。</p>
会長	<p>先ほど、運賃協議部会の設置についての話があったが、ところバスの運賃の見直しを検討する際は、委員の指名等はどのような形で進めるのか。</p>
事務局	<p>運賃協議部会に関しては、協議会が設置するという規定になっているため、今回の協議会で諮った。委員に関しては、会長に指名していただくため、今後ところバスの運賃協議部会を開く際には、事務局と会長との間で指名の手続きを進めさせていただきたい。</p>
委員	<p>三ヶ島地区で運行しているところワゴンについて、非常に便利に思うが、最近利用者が増加しており、糞谷付近の停留所で、満員になっている場面が見受けられる。そこで、将来的にところワゴンの増便等は考えられているのかを教えていただきたい。</p> <p>加えて、10月に和ヶ原公園にて開催されたお祭りの付近をところワゴンが運行していたが、時間が合わず、その他の交通手段で来る人が大勢いた。ところワゴンを上手く活用すると、お祭りの来場者も、ところワゴンの利用者も増えるのではないかと考えている。</p> <p>ところワゴンの運行により、生活そのものが変化してきているため、増便やダイヤ改正等、長期的な展望で検討していただきたい。</p>
事務局	<p>本格運行への移行後も引き続き定期的な見直しを行いながら、より便利になるよう、これまでと同様、地域の方々と意見交換をしていきたい。</p> <p>便数の増加に関しては、運行している車両の台数に限りがあるため</p>

	<p>難しい。</p> <p>増便に伴うワゴン車両の追加購入は、財政的な面も考えていく必要があるため、利用者が増えれば、増車・増便の対応も可能であると考えている。引き続き利用を続けていただくとともに、地域の方へ公共交通の利用に対する意識付けにご協力いただきたい。</p> <p>今後とも地域の方々と連携を取りながら、より便利で使いやすい運行を検討していく。</p>
委員	<p>指標 1~4 までの部分で、「目標の達成に向けた施策・取り組みの状況」というのは、令和 4 年度に実施したことについて評価をしており、令和 5 年度に向けた取り組みは記載しないという認識でよろしいか。また、こちらの評価は、事務局としてではなく協議会としてのコメントと思われるが、コメントの語尾で気になる表現が見受けられた。</p>
会長	<p>今回の評価は、令和 4 年度実施事業に対する評価としている。評価コメントについては、協議会から事務局に対するコメントという形で、今後こういうことに取り組んでほしいという表明として、多くの項目で「～されたい」と記載している。</p>
委員	<p>協議会として評価するのであれば、協議会で施策・取組を検討するものと考えていた。事業者としても施策・取組を検討していくが、協議会として何かに取り組んでいくということではない認識でよろしいか。</p>
事務局	<p>協議会自体で何かに取り組みたいという希望があれば実施可能ではあるが、今回の協議会の立場としては、市や各交通事業者が取り組んでいることを評価するという位置づけである。</p>
会長	<p>地域公共交通計画は、市が策定したものであるが、市の計画に沿った施策の実施状況について、協議会として評価する仕組みとなっている。</p> <p>そのため、主体としては協議会が市に対して意見を付す形になる。</p>
委員	<p>指標 1 については、コロナ禍前の人数に戻すことが目標なのか。計画上の目標値は基準値以上であるため、目標を達成しているのかを分けて記載した方が良いと考える。</p> <p>また、指標 5 について、ターゲットを明確にしたモビリティ・マネ</p>



事務局	<p>ジメントの実施を求めていく部分で、令和4年度に実施された3回は、ターゲットを明確にして取り組んでいたのか教えていただきたい。</p> <p>指標1については、コロナ禍前の参考値も表示するよう修正する。評価のコメントは、ご意見を踏まえて「基準値以上とした目標を達成している」と「コロナ禍前に戻り切っていない」の文章を分けて記載する。</p> <p>指標5については、ところバス・ところワゴンの利用案内の作成・配布を行った。広報ところざわ2月号において、子ども連れの家族をモデルにして、若い世代をターゲットに公共交通のPRを行った。柳瀬地区ところワゴンの出発式では、柳瀬地区の住民を対象に乗降体験会を実施した。</p>
会長	<p>計画について様々な質問が出てきたが、来年度分を評価する際は、参考にしたデータの資料を提示してもらえれば、より理解・議論がしやすいように思う。</p> <p>来年に向けて表記方法を改善していくということで、今後も進めてよろしいか。</p>
各委員	<p>(全員了承)</p>
会長	<p>それでは次年度から、このような形で協議会が評価を行うということをお願いしたい。</p> <p><b>(5)その他</b>  ところワゴン3地区の実績について  参考資料2をもとに説明。</p> <p>次回の協議会の日程について  令和6年2月7日(水)に開催を予定している。</p> <p>以上で議事を終了する。</p> <p><b>4 閉会</b></p>